

## 2 2 消費（ボイラー）工程における火災

### 1 消費（ボイラー）工程とは

危険物である燃料（軽油など）を直接燃焼させ、消費する施設です。「一般取扱所」という危険物施設に分類されます。

### 2 消費（ボイラー）工程の火災危険性

全国の一般取扱所 10,000 施設当たり 19.1 件もの火災が発生しています。その中でも、消費（ボイラー）工程の火災は 30% を占めています（平成 18 年）。

#### 【事件事例】

- ① 点火バーナーの作動不良により不完全燃焼となり、生じた未燃ガスが爆発した。
- ② サーモスタットが作動して燃焼が停止した際、燃料配管の電磁弁にホコリが付着して完全に閉止しなかったため、燃料の重油が漏えいし、ボイラー本体の高温熱により着火した。

### 3 火災防止策

#### (1) 清掃

清掃不良に起因する燃料弁等の作動不良による事故が多い。

#### (2) 安全の確認

制御装置が作動して燃焼が停止した際、原因を追求せず安易に燃焼を再開したことによる事故が多い。

#### (3) 設備の点検

安全装置、配管、フランジ、弁、ポンプ等の破損や故障による事故が多い。

参考：危険物施設における事件事例と安全対策について（危険物保安技術協会）



消費（ボイラー）工程  
における爆発事故の例

出典：総務省消防庁「危険物等事故報告オンライン処理システム」